

地域の社会資源

シリーズ⑦



鶴ヶ島市内における社会資源を紹介します。
社会資源とは、生活上のニーズを充足するさまざまな物資や人材、制度、技術の総称であり、地域福祉活動を進めていく際に重要となってきます。
今回は、相談支援について採り上げます。



ふくしの 社協だより No.126 まち

H27.7.1

ふれあいネットワーク

社会福祉法人 鶴ヶ島市社会福祉協議会

受託事業

鶴ヶ島市
社会福祉協議会

鶴ヶ島市生活
サポートセンター
始めました



鶴ヶ島市生活サポートセンター 相談員
よろしくお願いします

平成27年4月1日から社会福祉協議会では、鶴ヶ島市生活サポートセンターを開設しました。鶴ヶ島市生活サポートセンターでは、市内にお住まいのかたの、日常生活や仕事などでの困りごとや悩みなどの解決に向け、鶴ヶ島市障害者基幹相談支援センターと生活困窮者自立相談支援センターの二つの事業を行っています。

詳しくは5ページをご覧ください。



市庁舎2階
センター窓口

社会福祉協議会の
ホームページをご覧ください。

社会福祉協議会の業務内容やボランティア・市民活動の情報など掲載しています。

鶴ヶ島 社協 で 検索

社協だよりは、目の不自由な障がい者の方々に、点字版・テープ版・デージー版を発行しております。ご希望の方は、社会福祉協議会までご連絡ください。
(協力:鶴ヶ島市点字サークル「アイ」、鶴ヶ島音訳ボランティアサークル「せせらぎ」、デージー鶴ヶ島)

この「社協だより」は、共同募金配分金により作成しています。



今年もよろしくお願ひします！
社会福祉協議会

会員募集

社協会員からはじまる、あなたの地域福祉活動！！

昨年度は
個人会費6,856口・団体会費123口
賛助会費92口、合計4,471,000円が
市内で行われている地域福祉活動
に使われました。
ありがとうございます！

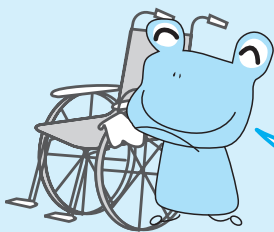
社会福祉協議会（社協）^{しゃきょう}では、住民会員制度をとつており、多くの市民の皆さまや関係団体・機関と協働しながら、身近な地域で共に支え合う地域福祉を基本に“ふだんのくらしのしあわせ”を目指しています。ふだん生活をしている“つるがしま”と一緒に考えてみませんか。ご加入いただいた皆さまから寄せられる意見等が、福祉課題の把握と、その解決を図るための地域福祉活動などの貴重な社会資源となっています。

7月は会員加入促進月間です

会員の加入方法は、自治会を通してお願いする方法があります。自治会から推薦された福祉委員を中心として、自治会長や班長の方々のご協力により各世帯にお願いしています。また、自治会の組織がない地域や自治会に加入していない方は、社会福祉協議会（市庁舎6階）で加入（更新）手続きを承ります。

個人会員	年額一口	500円	個人入会者や世帯など
団体会員	年額一口	1,000円	社会福祉団体、ボランティア、市民活動団体など
賛助会員	年額一口	10,000円	法人、事業所、篤志家など

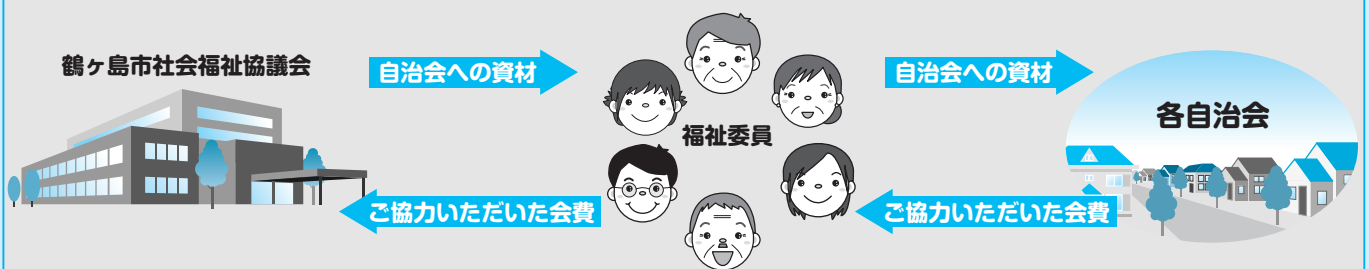
今年度も皆さまのご加入を心からお待ち申し上げます。
「福祉のまちづくり」のため、どうか社協の事業にご理解、ご協力をお願いします。



皆さまの会費が、地域福祉活動を推進している関係団体やボランティア、市民活動団体等の支援につながっています。
詳細は、次ページ以降の“会費の使いみち”や“主な事業の紹介”をご覧ください。
その他、社協会員の皆さまは、
① 住民参加型在宅福祉サービス（つるがしまふれあいサービス）
② 車いすや介護ベッド・3人乗り自転車貸出事業
をご利用いただけます。

会員募集の流れ

会員募集は各自治会内の福祉委員の協力を得て取り組みを進めています。



ご協力いただきました

社会福祉協議会会員 会費の使いみち

地域福祉の推進のために、さまざまな角度から関係団体やボランティア・市民活動団体等が自主的、主体的に展開している事業に活用しています！

今年度は、ボランティア団体協力のもと実施する彩の国ボランティア体験プログラムや車いす・介護ベッド貸出事業で使用する福祉機器等の維持管理、地域福祉活動計画策定のための視察研修、ふれあい・いきいきサロン実施団体20か所、地域支え合い協議会4か所、福祉教育・体験学習推進校8校による取り組みに活用されています。その中からいくつかをご紹介します。

ふれあい・いきいきサロンとは、参加する一人ひとりが共に楽しい時間を過ごしなが「地域の一員」としての気持ちを高め、地域社会におけるつながりを再構築し、地域の助け合いが広がっていく場です。



ふれあい・いきいきサロン おしゃべりサロンたんぼぼ



サザン地域支え合い協議会 福祉支え合い委員会での研修

地域支え合い協議会とは、現在、4つの組織ができており（鶴ヶ島第二小学校区、富士見地区、サザン（南小学校区）、杉下小学校区）、地域ごとに助け合い隊事業、防災事業、子ども委員会、サロン等の事業を行っています。

福祉教育・体験学習推進校とは、学校等にかかわる子どもや保護者が、地域の方々と連携し、社会福祉への理解と関心を高め、自立と社会連帯への精神を養うとともに、実践活動へと展開できる取り組みについて、特に重点的に取り組んでもらえる学校をプレゼンにより決定しています。

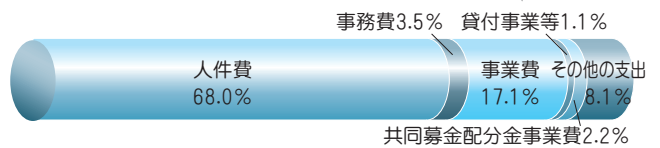
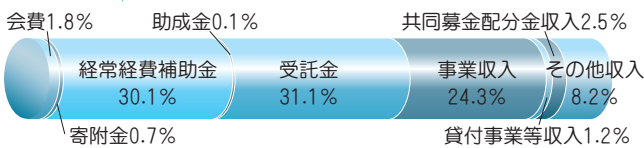


栄小学校4年生 福祉教育 手話体験

収入

平成27年度鶴ヶ島市社会福祉協議会会計資金収支予算

支出



会費	4,180千円	事業収入	55,405千円
寄附金	1,662千円	貸付事業等収入	2,610千円
経常経費補助金	68,829千円	共同募金配分金収入	5,712千円
助成金	260千円	その他収入	18,789千円
受託金	71,033千円	収入合計	228,480千円

人件費	155,398千円	その他の支出	18,547千円
事業費	39,087千円		
事務費	7,878千円		
貸付事業等	2,610千円		
共同募金配分金事業費	4,960千円	支出合計	228,480千円

